

平成 29 年 1 月 31 日
愛 媛 大 学

『坊っちゃん』はどう書かれ、どう読まれたか

夏目漱石生誕 150 年記念公開講演会

今年、夏目漱石・正岡子規生誕 150 年に当たります。漱石生誕 150 年を記念して、現在、愛媛大学ミュージアムで、教育学部日本語学教室主催による記念展示「110 年『坊っちゃん』はどう変わったか」を開催しています。

松山が舞台とされる名作『坊っちゃん』は日本を代表する国民文学として多く日本人に読まれてきました。『坊っちゃん』が執筆されて 110 年、漱石の自筆原稿は活字となり、さまざまな単行本となりました。そして、いくつもの全集に収録され、何度も姿を変えて文庫本となり、戦後は中学国語の教科書にも掲載されました。そのバリエーションの一端を、文字・表記の変化・ゆれという観点から皆様にご紹介することが、今回の展示のテーマです。

この展示に合わせ、「どう書かれたかー文字・表記のバリエーションー」についての研究成果の報告と国語科教材として「どう読むのか」についての講演を下記のとおり開催します。

この講演会は、漱石ゆかりの松山にある大学として、また『坊っちゃん』の中で中学生と大喧嘩した師範学校の末裔として、愛媛大学教育学部が地域の皆さんに果たすべき責務の一つではないかと考えています。

つきましては、是非取材くださいますようお願いいたします。

記

日 時：平成 29 年 2 月 11 日（土）10 時 00 分～12 時 00 分

場 所：愛媛大学教育学部 2 号館 1 階 103 教室

研究成果報告：10 時 00 分～10 時 50 分

『坊っちゃん』冒頭部のバラエティー

ー夏目漱石生誕 150 年記念展示「110 年『坊っちゃん』はどう変わったか」についてー
愛媛大学教育学部教授 佐藤 栄作

講 演：11 時 00 分～12 時 00 分

教材としての『坊っちゃん』 愛媛大学教育学部教授 三浦 和尚

※送付資料 2 枚（本紙を含む）

本件に関する問い合わせ先

教育学部 教授

佐藤 栄作（さとう えいさく）

TEL：089-927-9398

Mail：sato.eisaku.mg@ehime-u.ac.jp